

2019年度 生存学研究所 研究プロジェクト公募要領

1. このプロジェクト公募の目的・性格

立命館大学生存学研究所は、「生存学」に関するテーマをもつ研究プロジェクトに対し、プロジェクト研究および研究成果発表に必要な研究資金の全額または一部を交付します。

それぞれの研究内容にもとづき、若手研究者研究強化を兼ねた大学院生のチーム参加必須とします。

選考については申請書をもとに、生存学研究所研究プロジェクト審査員がチーム単位での採択を決定します（チーム調整・減額採択含む）。

注）本プロジェクト公募については、2019年度の年間を通じて1回のみ募集形態となります。  
各位この機会を逃さないようご応募ください。

募集内容

	記入上の注意点
チーム代表者の申請資格・構成	立命館大学生存学研究所運営委員（重点研究の代表者を除く） *チーム代表者としての申請は、1件限りとする。  *大学院生のチーム参加は必須とし、院生グループを組織する。 また、大学院生については、1人1プロジェクトのみ参加を原則とするが、同一人物が複数のプロジェクトに参加する場合には、申請調書の所定欄を用いてその理由を記載すること。
助成対象経費	プロジェクトで行う研究活動経費（旅費・消耗品費等） * 研究に直接関係のない経費については、認めない場合もあります
申請・助成期限	<b>申請期限：2019年6月20日（木）16時必着</b> <b>執行期限：2020年1月31日（金）厳守</b>
研究内容	生存学に関する研究内容であること。
助成金額	1件につき25万円を上限とする全額またはその一部 採択数について4件程度とする。
<p><b>【運営委員】</b>（2019年度重点研究代表者：立岩真也、長瀬修、美馬達哉を除く） 大谷いづみ、渡辺克典、小川さやか、岸政彦、栗原彬、小泉義之、齋藤龍一郎、桜井政成、サトウタツヤ、鎮目真人、千葉雅也、Andrea De Antoni、Paul Dumouchel、富永京子、中村正、西成彦、林達雄、松尾匡、松原洋子、村本邦子、望月茂徳、安田裕子、やまだようこ</p>	

2. 申請調書の記入について

- ① チームを単位とし、研究メンバーの人数は最低2名（研究代表者=研究所運営委員1名・研究メンバー1名）でもよいが、着実な研究推進および生存学研究所に貢献する研究成果発表が可能な体制であること。
- ② 研究メンバーは、以下の通り定義する。

**研究代表者** 生存学研究所運営委員で、研究課題を統括し、研究計画の遂行、研究成果のとりまとめや公表、経費執行管理などすべての責任を持つ者。

**研究分担者** 生存学研究所運営委員、本学専任教員、任期制教員（助教を含む）、特別任用教授、特命教授、特別契約教員、特別招聘教員、研究教員（特別招聘研究教員・招聘研究教員、研究教員、客員研究教員）、研究職員（専門研究員・研究員・補助研究員、リサーチアシスタント）、生存学研究所所属の客員協力研究員、研究指導助手、本学博士課程院生（前後期）および一貫制博士課程1回生以上で研究計画の遂行にあたり研究代表者と共同して中心的な役割を果たし、研究成果公表にあたり実質的に参画する者、本学非常勤講師、本学授業担当講師、本学に所属する日本学術振興会特別研究員。

なお、日本学術振興会特別研究員は、研究分担者として参加することはできるが、特別研究員における専念義務があるため、旅費以外の研究費の支援を受けることはできない。申請調書に記載する場合は、該当者の右肩にアスタリスク（\*）を付記すること。

また、休学中の院生について、院生チームに参加することはできるが、休学中の研究費支援を受けることはできない。申請調書に記載する場合には、該当者の名前の横に（休学中／休学予定）と付記し、「プロジェクトでの役割」欄に休学（予定）期間を明記すること。

### ③ 研究経費の使途

- ・ 旅費（国外・国内）、機器備品費、消耗品費、印刷・製本費など、研究計画の遂行に必要な経費および研究成果の取りまとめに必要な経費を対象とする。
- ・ 執行は、本学規程に準じる。執行できる経費については、研究部作成の「研究費執行ガイドブック 2019年度版」を参照。（研究部HP：[http://www.ritsumei.ac.jp/research/member/research\\_expenses/re02.html/](http://www.ritsumei.ac.jp/research/member/research_expenses/re02.html/)）
- ・ 院生が研究費執行を申請する際には、必ず研究代表者（運営委員）の承認を得ること。

## 3. 審査について

生存学研究所研究プロジェクト審査員が審査し、採否を決定します。採否決定前に、研究内容を確認した上で、チームや採択額の調整を行う場合があります。採否結果は、7月上旬を目処に研究代表者および実務責任者に通知いたします。

## 4. 成果報告・発表時の表記について

① 研究費助成を受けた場合には「実績報告書」の提出を必須とし、またその成果を生存学研究所年次総会（2019年度後期、口頭報告あるいはポスター報告を予定）で報告することとする。

② 研究成果発表の際には本研究支援を受けたことを表示してください。

（記入の仕方については下記の例示を参照のこと）

- ・ 本研究は立命館大学生存学研究所・研究プロジェクトの助成を受けたものです。
- ・ This work was supported by Institute of Ars Vivendi, Ritsumeikan University.

## 5. 申請方法等

所定の申請様式に基づきデータにて申請してください。

**【申請期間】2019年5月21日（火） - 2019年6月20日（木）16時必着**

**【提出先・お問い合わせ先】**

生存学研究所事務局 **Email: [ars-vive@st.ritsumei.ac.jp](mailto:ars-vive@st.ritsumei.ac.jp)**

Phone:075-465-8475、内線：511-2819（平日9:00～17:30）Fax:075-465-8245

以上